

令和 5 年度大牟田市文化芸術振興審議会第 4 回会議

日時	令和 5 年 11 月 22 日（水） 13：30～14：30
場所	大牟田市役所新館 4 階 302 号会議室（経営会議室）
次第	（議題） 1 大牟田市文化芸術振興プラン(第 3 期)の素案に対する市民意見募集について(報告) 2 大牟田市文化芸術振興プラン(第 3 期)の最終案について 3 大牟田市文化芸術振興審議会からの最終答申案について 4 大牟田市文化芸術振興プラン(第 3 期)確定までのスケジュール等について 5 その他
出席者	（審議会員） 日下部委員、甲斐田委員、野中委員、深浦委員、木村委員、梶原委員、右田委員、香山委員、北島委員 （事務局） 坂井市民協働部長、徳川課長、龍主査（生涯学習課）
欠席者	（審議会員） 猿渡委員

（議題）

1 大牟田市文化芸術振興プラン(第 3 期)の素案に対する市民意見募集について(報告)

（事務局）資料 1 に沿って説明

（委員）

市民意見が 0 件ということについて、どのような受け止め方をすべきなのか。

（事務局）

市で色々な計画を策定する際には、協働のまちづくり推進条例に基づき、市民の意見を反映させることとなっており、そのための手法として、今回のようなパブリックコメントがある。市の全体の総合計画や市民の生活に結びつくような計画、例えば学校再編や健康づくり、環境等については、非常に多くの意見が出される傾向にあるが、文化芸術振興プランのような特定の分野については、あまり意見が出てこないというのが実情。第 2 期プラン策定時も同じ形でパブリックコメントを実施したが、1 件しか意見が出なかった。

ただ、これまでの文化芸術振興審議会の中で、各委員の皆様から様々なご意見をいただいている。そのご意見は、それぞれの団体の代表としてのご発言と捉えているため、市民の皆様のご意見としては、十分に反映されているのではないかと考えている。

2 大牟田市文化芸術振興プラン(第3期)の最終案について

(事務局) 資料 2-1、2-2に沿って説明

(委員)

カルタ資料の収蔵数について、毎年増加しているのか

(委員)

予算の範囲で毎年新たに購入している。また、寄贈いただくこともあるので、年間100点弱ほど増えている。収蔵庫スペースが今後課題である。

(委員)

資料 2-2 の 17 ページの「文化芸術を鑑賞した機会」のグラフが視覚的に見づらい。

(事務局)

グラフのレイアウトは、今一度検討させていただく。

(委員)

同グラフについて、一番右の 2.1%の説明がない。

(事務局)

2.1%は無回答であるが、その説明が抜けている。そこも含めて修正を行う。

(委員)

資料 2-2 の 16 ページのアンケート調査の概要について、「(4) 子どもに対する文化芸術に関するアンケート調査」と「(5) 若者へのアンケート調査」だけ回収率の記載がないのはなぜか。

(事務局)

(4) は、押し花展覧会に来場した小学生に対してアンケートの記入をお願いし、記入いただいた件数となる。この場合、配布した件数と回収した件数が必ず一致するので、回収率という表現が馴染まないと判断し記載をしていない。(5) についても、えるるを利用する若者へ個別にアンケート協力をお願いし、記入いただいた件数となるため、配布した件数と回収した件数が同じである。

(委員)

では、回収率 100%と記載してはどうか。

(事務局)

(4) と (5) のアンケートの取り方の場合、母数の特定ができないというのがある。

例えば（４）の子供に対する文化芸術に関するアンケート調査では、押し花展覧会には700人程度来場されたが、700人全員にアンケートを配布して回収したわけではなく、来場された子ども達に協力を求めてその場で記入いただくという形としたため、何分の92という母数が特定できなかった。このため、あえて回収率は記載しなかった。

（委員）

そういうことであれば、「回収サンプル数」という表現を「回収件数」などに変えてはどうか。

（事務局）

そのように修正させていただく。

なお、プランの審議については、今回の審議会が最後となるため修正については、事務局の責任で行い、最終案を会長と副会長に確認いただいた後確定とさせていただきたい。

3 大牟田市文化芸術振興審議会からの最終答申案について

（事務局）資料3に沿って説明

（委員）

本日配布された追加資料の4ページに大牟田文化連合会の会員数の推移のグラフと、市内の文化芸術団体の分野別団体数が一覧表で記載されているが、グラフと一覧表の関係が分かりにくい。

（事務局）

分かりやすくなるよう説明等を追記する。

なお、本日追加で配布した当該資料は、今後プランを確定するうえで、庁内での会議や教育委員会、社会教育委員の会議等での説明資料として活用予定。

（委員）

本日配布された追加資料の8ページに基本目標や基本目標毎の施策と取組みが記載されているが、成果指標を記載していなのは何か理由があるのか。記載した方がよいのではないか。

（事務局）

記載していないことに特段意図はない。

確かに、成果指標も記載した方がいいと思われるので追記を行うこととしたい。

(委員)

本日配布された追加資料の 11 ページに、障害のある子どもと障害のない子どもとの合同によるアート創作の写真が掲載されているが、このような取り組みがされていることに少し安心した。

(事務局)

この写真は、保健福祉部福祉課が関わりを持っている民間団体が、イオンモール大牟田で実施したワークショップの作品である。イオンモール大牟田が、民間団体が行う事業の趣旨に賛同したことで、定期的に障害のある子どもたちが関わるワークショップ等や作品の展示を行っている。

このような民間団体や企業の活動を市で支援したり連携したりすることで、今後も様々な取り組みができるのではないかと考えている。

4 大牟田市文化芸術振興プラン(第3期)確定までのスケジュール等について

(事務局) 資料 4 に沿って説明

(委員)

市民への周知について、プランの冊子と概要版のリーフレットの作成部数はどれくらいの予定か。またどういったところに配布するのか。

(事務局)

冊子は 200 冊、リーフレットは 5,000 冊を予定している。

冊子については、前回のプラン改訂時に配布したリストがあるのでそういったものを参考にしながら配布予定で、リーフレットについては、公共施設での配架をはじめ、例えば市民の皆様プランを紹介する機会というのが、今後さまざまな場面に出てくると思うので、そういった時に配布することを想定している。当然、ホームページでもダウンロードできるようにする。

また、広報おおむたでの啓発について、これまで文化芸術団体の活動等を広報おおむたで周知していくということをほとんどやってこなかった。今後、プランの周知は当然行っていくが、どのような文化芸術団体がどのような活動をしているかという、団体の活動の見える化をやっていきたいと考えている。それは、プランの基本目標 4 の「文化芸術活動をささえる」や基本目標 5 の「文化芸術活動の魅力をつたえる」に繋がっていくものと思うので、来年度はとにかく活動の PR やプロモーションに力を入れていきたい。

(委員)

市民にどんなことがあっているのかを知ってもらうことが一番大切だと思う。何かの機会を捉えて知る機会を増やすというのは、事務局が言うように重要である。

(委員)

プランの冊子の44ページに(5)企業というのがあるが、企業に対して文化芸術振興の取組みや働きかけを行政は何かされているのか。

自分も店を持っているので、文化イベント等で協賛のお話など結構ある。その際は、できるだけ協力はさせてもらっている。大牟田は大きい企業がたくさんあるので、大企業もそのような思いとか気持ちをもっていただくと、企業ももっと違った動きができるかなと思っている。企業と文化芸術というのはかけ離れた印象であるが、相まって動きができるともっとお互い盛んになってくるのではないかと感じる。

(事務局)

行政と企業が一緒に文化芸術の振興を行っていく機会というのは非常に少ないのが現状。一方で、文化芸術団体が企業と一緒に事業を行うケースが増えてきている。今年度は、大牟田市文化振興財団の音楽関係の事業に対して企業から寄付があり、子ども達がより多く音楽に触れる機会を設けることができた。また、来年の2月に実施予定の日本フィルハーモニー交響楽団の大牟田公演において、子どもたちの無料席を民間がスポンサーになり確保するというような動きもある。そういった取組みのPRや繋ぐ役目が行政と考えている。来年度以降は、そういった取組みを進めていきたいと考えている。

(委員)

三井化学でも毎年、地域でイベント等行われているので、大企業でも取り組まれているところはある。そういったところと連携して一緒にできたらと思う。

(委員)

大きい企業も地域に貢献しようという気持ちはあるがやり方が分からない場合が多いので、自社でお祭りなどのイベントをやっているのだと思う。そういった企業に対して大牟田文化連合会からアプローチしていったらどうかと思う。1つの文化芸術団体だけイベント等に係るということではなくて、大きい組織に関わった方が良い。

5 その他

(事務局)

委員の皆様の任期は今年の11月30日までとなる。事務局では、新たな委員の就任の依頼について、今後、関係団体の皆様と協議をさせていただき、委員の推薦の依頼を行う予定。あわせて市民委員の募集も行っていく。